【投稿】復旧ではなく復興を

会員　西田淳一

大震災被災者の避難生活は健康、衛生面での厳しさを増しながらも、被災地では瓦礫（がれき）の除去、道路の復旧、仮設住宅の設置等、徐々に生活環境の整備が進んで来ており、避難から生活へと次の段階に間違いなく駒が進んでいる。政府及び政治家はこの時点で、当初の強い思いと決断に立ち返り、この大災害を奇貨として、過去への「復旧」ではなく、戦後体制に終止符を打ち新たな日本国を創出するという決意を再確認し、未来への「復興」に向けたシナリオとルール作りとプロセス作成に直ちに取り掛かる必要がある。

我々日本人は、ややもすると「熱しやすく冷めやすい」国民であり、喉元過ぎれば何とやらで、大義を忘れ元に戻ってしまう傾向が強い。始まっている道路の復旧、住宅仮設、港の復旧等においても、復旧は当座の生活を支える一時的手段であり、決して最終目標ではない。未来型コンパクトシティーの集合体等で創設される将来の大東北地域社会・経済圏の創出を目指し、政府関係者及び政治家は小異なる利害を捨て大同一致団結、後の祭りにならぬよう復興への取り組みを加速させ、民をもフル活用した国家総力戦で取り組む必要がある。